

Title	経済学関係文献目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1956
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.49, No.1 (1956. 1) ,p.77(77)- 80(80)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	経済学関係文献目録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19560101-0077

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

というものが、たまたま自分の思想と相觸れた所があるにすぎないのである……もし自分の社會主義というものがあれば、それは貧者にたいする同情、ただこれだけである……」(一二三頁)。すなわち彼によれば、大鹽平八郎も能澤藩山も社會主義者であるというのである。支配階級のための仁政、徳政をすらし、社會主義と考えた嶺雲には、社會主義の本質は把握されていなかった。ここにもまた「矛盾せる思想家」の一面があらわれている。著者はつぎのように云われる。「彼もまた夏目漱石等と同じく明治天皇の計報に哭する明治人であつたのだ。そうでなければ、何をことさら『天慟地哭の悲報』というような文字を使う必要があるであらうか。晩年の彼が筆禍を防ぐために多少細心となつていたということはあつたようにせよ、自らすすんで詔諫の辭を文中に挿入するような人物では断じてない。その點では、彼は日本に革命を起すために天皇を倒すことの急務を力説した幸徳秋水や明治天皇をムツヒトと呼び捨てにした木下尚江とまつたくちがつている」と(一三二—一三三頁)。權力を憎悪し、權力と闘いながらも、權力の根源をつきとめえなかつた彼は、やはり社會主義者ではなかつた。しかしこのことは毫も嶺雲の偉大さをそこなうものではない。彼のあらゆる思想は、今もなおわれわれの胸を強くうつ。專制政治のもとでは、より多くの人々が嶺雲と同じくその言論の自由を奪われて死んでいった。われわれの任務は、それらの人々の思想をより一層發展させることではなければならぬ。

最後に、「忘れられた思想家」嶺雲を、われわれの前に蘇らせてくれた家永教授の學問的な良心に、深い尊敬をおぼえずにはいられない。

い。そしてまた、嶺雲の著書といえは、「明治逆臣傳」しか讀んでいない門外漢の私が、この香り高い著作によつて蕪雜な紹介を試みなければならなかつたことについては、著者および讀者諸子の寛容に待つほかはない。(岩波新書・百圓)一九五五、九、四—

(飯田 鼎)

經濟學關係文献目錄

(昭和三十年八月—十月—その二)

理論・學說史・經濟思想

- *後進諸國の資本形成 ヌルクセ著 土屋六郎譯 B 6 二四一頁 二八〇圓(巖松堂)
- *マルクス經濟學の形成 經濟學說全集7 マルクス著 向坂逸郎譯 A 5 三三六頁 三四〇圓(河出書房)
- *最大限利潤の法則 内田稷吉編 B 6 二八八頁 三〇〇圓(大月書店)
- *スターリン經濟學論文の學習 千家駒著 尾崎庄太郎譯 青木文庫 A 6 二六六頁 一〇〇圓(青木書店)
- *社會科學概論 玉城肇著 B 6 一九四頁 二〇〇圓(刀江書院)
- *古典派の批判 末永茂喜編 經濟學說全集4 A 5 三一〇頁 三四〇圓(河出書房)
- *金融資本論 中 ヒルファディング著 岡崎次郎譯 岩波文庫 A 6 一八八頁 八〇圓(岩波書店)

經濟學關係文献目錄

- *ケインズ以後の經濟學 鈴木諒一著 増補版 B 6 一七四頁 二〇〇圓(泉文堂)
- *厚生經濟學 4 ビグツ著 氣賀健三・千種義人・鈴木諒一・福岡正夫・大熊一郎譯 A 5 二〇六頁 四〇〇圓(東洋經濟新報社)
- *計量經濟學の確率的接近法 ホーベルモ一著 山田勇譯編 一橋大學經濟研究叢書 A 5 一六〇頁 二五〇圓(岩波書店)
- *資本論に關する手紙 下 マルクス・エンゲルス著 岡崎次郎譯 A 5 二〇八頁 三〇〇圓(法政大學出版局)
- *經濟學史 舞出長五郎・横山正彦著 經濟學全集 A 5 二七二頁 七〇〇圓(弘文堂)
- *經濟學概要 正木一夫・椋原敬三著 A 5 三〇七頁 三八〇圓(關書院)
- *經濟學教科書講義 1 宮川實著 青木新書 B 40 二二二頁 一〇〇圓(青木書店)

勞働・社會政策

- *勞働問題の背後にあるもの 岡田完二郎著 B 6 一四二頁 一八〇圓(一橋書房)
- *勞働問題事典 大友福夫編 青木文庫 A 6 三一四頁 一五〇圓(青木書店)
- *ソ聯の勞働階級及び勞働政策 上 シュワ

歴史

- ルツ著 松井七郎譯 A 5 二五一頁 三八〇圓(巖松堂)
- *ソヴェト勞働組合運動史 下 マルコフ著 山下龍三譯 社會科學選書 B 6 二五二頁 二六〇圓(青木書店)
- *勞働白書 一九五五年版——勞働經濟の分析——勞働省勞働統計調査部編(勞働法令協會)
- *勞働生産性の理論と實際 勞働省勞働統計調査部譯編 A 5 二二八頁 二五〇圓(勞働法令協會)
- *戦後日本の勞働運動 大河内一男著 岩波新書 B 40 二二六頁 一〇〇圓(岩波書店)
- *イタリヤ勞働組合運動小史 ガンデローロ著 石黒寛・代久二譯 國民文庫 二一七頁 九〇圓(國民文庫社)
- *アメリカの當面する勞働問題 アメリカ政治經濟研究會譯 青木文庫 A 6 二四〇頁 一〇〇圓(青木書店)
- *歴史の遺産 石母田正著 大月新書 B 40 二三一頁 一〇〇圓(大月書店)
- *近世地方史研究入門 地方史研究協議會編 B 6 小 三三四頁 三二〇圓(岩波書店)

- *百姓一撥の傳統 林基著 B 6 三八二頁
- 三五〇圓(新評論社)
- *シベリア出兵の史的研究 細谷千博著 A 5 二九四頁 四八〇圓(有斐閣)
- *自由黨史 1 板垣退助監修 後藤靖解説 青木文庫 A 6 二八一頁 一一〇圓(青木書店)
- *自由黨史 2 板垣退助監修 後藤靖解説 青木文庫 A 6 二九三頁 一一〇圓(青木書店)
- *一九〇五年の革命 レーニン全集刊行委員 會譯 國民文庫 A 6 一三九頁 六〇圓(國民文庫社)
- *共同體の基礎理論 大塚久雄著 A 5 一一頁 一七〇圓(岩波書店)
- *日本女性史 上 井上清著 三一新書 B 40 一五〇頁 九〇圓(三一書房)
- *日本女性史 下 井上清著 三一新書 B 40 一六三頁 九〇圓(三一書房)
- *大日本古記録 梅澤正景日記 3 東大史料編纂所編 A 5 三〇二頁 七五〇圓(岩波書店)
- *明治文化史 10 趣味娛樂篇 小宮豊隆編 A 5 六八八頁 一〇〇〇圓(洋々社)
- *明治文化史 11 社會經濟篇 濫澤敬三編 A 5 六〇八頁 一〇〇〇圓(洋々社)
- *大正昭和財界變動史 中 高橋龜吉著 A 5 六九五頁 一一〇〇圓(東洋經濟新報社)
- *大正昭和財界變動史 下 高橋龜吉著 A 5 七六〇頁 一一〇〇圓(東洋經濟新報社)
- *日本の歴史 上 井上清著 三一新書 B 40 二二三頁 一一〇圓(三一書房)
- *日本の歴史 下 井上清著 三一新書 B 40 二二六頁 一一〇圓(三一書房)
- *日本經濟史 上 中村吉治著 A 5 四二四頁 七五〇圓(日本評論新社)
- *日本恐慌史論 下 第一次大戦後の恐慌——大島清著 三九〇頁 六〇〇圓(東大出版會)
- *世界史像の新形成 上原專祿著 B 6 二二五頁 二五〇圓(創文堂)
- *日本の海賊 長沼賢海著 日本歴史新書 B 6 二〇九頁 三〇〇圓(至文堂)
- *足利尊氏 高柳光壽著 A 5 四六〇頁 五五〇圓(春秋社)
- *中國史 田村實造・羽田明監修 アジア史講座 2 A 5 二七五頁 三二〇圓(岩崎書店)
- *インドの古代社會 中村元著 アテネ文庫 A 6 七五頁 三〇圓(弘文堂)
- *日本漁業經濟史 下 羽原又吉著 A 5 六八四頁 八〇〇圓(岩波書店)
- *昭和財政史 3 歳計 大藏省昭和財政史編集室編 A 5 六八二頁 一四〇〇圓(東洋經濟新報社)
- *絕對主義論 服部之總著 服部之總著作集 4 B 40 三五七頁 二〇〇圓(理論社)
- *經濟社會史序説 宮本又次著 A 5 一九四頁 二五〇圓(三和書房)
- *日本經濟史概論 奈良本辰也著 A 5 一八五頁 三〇〇圓(日本評論新社)
- *日本都市生活の源流 村上修一著 A 5 三二九頁 三八〇圓(關書院)
- *日本海運史概説 古田良一著 B 6 一七九頁 二〇〇圓(同文書院)
- *マス・コミュニケーションの原理 マス・コミュニケーション講座 1 清水幾太郎・城戸又一・南博・日高六郎編 A 5 三四五頁 二九〇圓(河出書房)
- *アメリカ社會學 オイダム著 横越英一譯 A 5 七〇二頁 八九〇圓(法政大學出版局)
- *ギョルツウィッチの社會學 野口隆著 B 6 一八五頁 二三〇圓(關書院)
- *日本の村落社會——須惠村——エンブリー著 植村元覺譯 B 6 三二二頁 三八〇圓(光文社)
- *日本生産性の基礎 付圖表 岩村清一著 B 6 一八〇頁 四二〇圓(河出書房)
- *戰爭經濟と恐慌 リューマ著 小椋廣勝譯 時代の窓 B 6 三二〇頁 二五〇圓(岩波書店)
- *高利貸——現代金融資本のはたらき——島崎照雄著 B 6 一八三頁 一一〇圓(新評論社)

社會學

- 圓(關書院)
- *ギンズバーク社會學 ギンズバーク著 川崎惠璋譯 B 6 二二四頁 二七〇圓(關書院)

社會思想

- *明治の思想 服部之總著 服部之總著作集 6 B 40 三一二頁 二〇〇圓(理論社)
- *マルクス・エンゲルス選集 3 マルクス・レーニン主義研究所譯 B 40 二九九頁 一六〇圓(大月書店)
- *マルクス・エンゲルス選集 4 マルクス・レーニン主義研究所譯 B 40 二八三頁 一六〇圓(大月書店)
- *社會主義の國の自由 イワノフ著 川内唯彦譯 青木新書 B 40 一八一頁 一〇〇圓(青木書店)
- *唯心論と唯物論 フォイエルバッハ著 船山信一譯 岩波文庫 B 6 二四〇頁 一〇〇圓(岩波書店)
- *進歩的思想について 惠載著 井關唯史譯 三一新書 B 40 一五一頁 九〇圓(三一書房)
- *カール・マルクス 下 シュヴァルツキル卜著 庄野滿雄譯 B 40 二八一頁 一九〇圓(生活社)

經濟學關係文獻目錄

經濟事情

- *財閥 岡倉古志郎著 B 40 二〇八頁 一〇〇圓(石崎書店)
- *近代共產主義運動史 セイトン・ワッスン著 中野忠夫譯 B 6 三二七頁 三五〇圓(石崎書店)
- *反ファシズム統一戦線 デイミトロフ著 勝部元譯 國民文庫 A 6 一九八頁 八〇圓(國民文庫社)
- *社會主義への道 山川均著 河出新書 B 40 二〇二頁 一〇〇圓(河出書房)
- *婦人論 上 ベーベル著 森下修一譯 角川文庫 A 6 四一〇頁 一三〇圓(角川書店)
- *婦人論 下 ベーベル著 森下修一譯 角川文庫 A 6 二七四頁 一〇〇圓(角川書店)
- *辨證法的史的唯物論 3 アレクサンドロフ著 古在由重・森宏一譯 青木新書 B 40 二六六頁 一二〇圓(青木書店)
- *レーニン全集 12 マルクス・レーニン主義研究所譯 B 6 五八四頁 七五〇圓(大月書店)
- *トレーズ政治報告集 2 フランス現代史研究会譯 B 6 三九六頁 三〇〇圓(未來社)

年鑑・辭典

- *世界經濟年報 一九五五年II第四半期 世界經濟研究所編 B 6 二五五頁 二五〇圓(大月書店)
- *日本經濟年報 88 一九五五年第四集 東洋經濟新報社編 B 6 二二三頁 一八〇圓(東洋經濟新報社)
- *日本經濟四季報 10 一九五五年四月—六月 日本經濟調查會編 B 6 二五四頁 二五〇圓(大月書店)
- *世界歴史事典 24 史料篇 西洋1 平凡社編 B 5 五五四頁 一二〇〇圓(平凡社)
- *經濟史年鑑 2 經濟史研究會編 B 6 二七八頁 四五〇圓(日本評論新社)
- *財政經濟統計要覽 昭和三〇年下期 大藏省編 B 6 二七八頁 四五〇圓(日本評論新社)

the farms. Cheap labour is always available and there is this repeated drift of labor from the farms, to the factories and back to the farms again. Furthermore, the small sized industry receiving sub-contracts is composed of family units engaged in both agriculture and domestic manufacture, employing the labor of all family hands from old to young. This cheap and elastic supply of labor forms the basis of the putting-out system. It is hardly possible for big enterprises to directly employ workers of this nature. Hence it is the dominance of the putters-out over the small and middle sized enterprises which enables big enterprise to reap profits out of cheap labor. This economic structure to the industry endorses the existence of the putting-out system which relies on the employment of cheap labor rather than on technical innovation.

The Chartist Movement and its historical significance

by *Kanae Iida*

An attempt to make a further addition to the historical account of the Chartist Movement seems hardly warranted, following the many thorough studies already made on its process of development by many scholars. Hence this report is not an historical account of the Chartist Movement. An observation made over the ten year period while questioning the basic characteristic and the class which was the nucleus of the movement, reveals a certain complexity. This complexity makes the interpretation of the entire movement in terms of "political uprising of the proletariat class", more or less unconvincing. The studies hitherto made of the movement are inclined to over-emphasize the class aspect. I have therefore tried in this report to present the complexity of the movement during the earlier period and at the same time I have made an observation on the historical significance of the movement.

三田學會雜誌 第四十九卷 第一號
 省大臣官房調査課編 A 5 二三三頁 二
 五〇圓(大藏財務協會)
 * 經濟學大辭典 2 中山伊知郎編 B 5
 七三六頁 二七〇〇圓(東洋經濟新報社)
 * 勞働總覽 昭和三十一年版 勞働省勞働大臣
 官房總務課編 B 7 八四一頁 三〇〇圓
 (勞働法令協會)

三田學會雜誌 第四十八卷 第十二號 目次

西獨鐵鋼業の復興過程……………	山本登
社會政策と勞働の人間の構造……………	中鉢正美
——いわゆる「賃勞働の理論」によせて——	
資料	
モンゴル遊牧民の男女分業……………	後藤富男
——その社會的な地位との關係——	
書評及び紹介	
久武雅夫著『數理經濟學原理』……………	鈴木諒一
F・ペーレンス著『近代經濟學の生誕』……………	中鉢正美
石津英雄譯『ゴッセンへの批判』……………	
——ゴッセンへの批判——	
エルスナー著『經濟恐慌』……………	常盤政治
千葉秀雄譯『ドイツ經營學』……………	小島三郎
市原秀一著『ドイツ經營學』……………	
——ドイツ的經營學の生成と發展——	
經濟學關係文獻目錄	
昭和三十年下半年總目錄	